

政務活動費支出簿

経費の範囲の項目	調査研究費
----------	-------

領収書 No	支出年月日	内 容	金 額	備 考
⑨	令和8年1月27日	1/27～1/28 鳥羽市視察の宿泊費6人分	52,800	
⑩	令和8年1月27日	鳥羽市視察時のタクシー費用	1,600	800+800 =1,600
⑪	令和8年1月28日	鳥羽市視察時の渡し船費用	6,600	3,300+3,300 =6,600
⑫	令和8年2月17日	鳥羽市視察時の貸切バス、有料道路、駐車料、乗務員費用、企画料金	305,400	
		合 計	366,400	

9

T: 消費税込み

前 受 金	
差引ご請求額	52,800

領収書

2026年1月27日

No. 016013

創政会 様

¥ 52,800

但し、ご利用代金として
上記のとおり確かに領収いたしました。

吉田屋 湯坊旅館
和光

〒 517-0011
三重県鳥羽市鳥羽1丁目13-1

TEL: 0599-25-2606
FAX: 0599-25-5461



領収書

2026年 01月 27日 17:27
車両番号 2713
運賃 ¥650円
迎車 ¥150円

(現金決済)

合計 ¥800円

(適用税率 10%)

登録番号 T3190001016370



三重近鉄タクシー株式会社

鳥羽・志摩営業所 志摩市阿児町鶴方字野田2573-2

☎0599-43-0121

東船場から
宿舎まで

領収書

2026年 01月 27日 17:30
車両番号 1703
運賃 ¥650円
迎車 ¥150円

運賃料金合計 ¥800円

合計 ¥800円

(適用税率 10%)

登録番号 T3190001016370



三重近鉄タクシー株式会社

鳥羽・志摩営業所 志摩市阿児町鶴方字野田2573-2

☎0599-43-0121

東船場から宿舎まで

領収書

様

金 3300 円也

ただし、

神島・志・菅島・桃取・坂手

⑤道・往復 6 名分乗船運賃

片道・往復 台分特殊手荷物運賃

☐ 回数乗船券 枚分

☐ 周遊券

として、上記金額を領収しました。

鳥羽市定期船運賃

6.1.2

2026. 01. 28

領収書

様

¥3,300 -

(消費税含む)

但し、上記の金額正に受領いたしました

答志和具一人

× 6 3,300円

合計 6点

(内課税対象10%

(内消費税10%

3,300円

3,300円

300円)

鳥羽市定期船

三重県鳥羽市鳥羽一丁目2383番51号

0599-25-4776

事業者名: 鳥羽市定期船課

登録番号: T4800020003757

領No. 024192-01

鳥羽港

⇕

答志和具

令和8年1月25日

綾部市議会議長 様

会派名 創政会
代表者氏名 幹事長 梅 原 哲

研究研修・調査計画書

下記のとおり計画しましたので届け出ます。

記

1 日 程	令和8年1月27日（火）～1月28日（水）
2 行 先	三重県鳥羽市 答志島
3 目 的	九鬼水軍の歴史を地域学習や観光資源として活用する方法について、また九鬼氏を共通のゆかりとする自治体間交流の可能性について視察する。
4 内 容	・ 九鬼水軍の歴史 ・ 鳥羽城跡を活かしたまちづくり ・ 郷土学習の重要性 ・ 答志島へ文化財の見学
5 概 算 経 費	400,000円
6 参加議員名	梅 原 哲 史、渡 辺 弘 造、高 橋 輝、 柳 原 秀 一、松 本 幸 子、後 藤 光
7 参考資料等	添付なし

令和 8 年 3 月 2 5 日

綾部市議会議長 様

会派名 創政会

代表者氏名 幹事長 梅 原 哲 史

研究研修・調査報告書

研究研修・調査をしました結果を下記のとおり報告します。

記

1 日 程	令和 8 年 1 月 2 7 日（火）～1 月 2 8 日（水）
2 行 先	三重県鳥羽市 答志島
3 目 的	九鬼水軍の歴史を地域資源やまちづくりに活用できないか視察する。九鬼氏をゆかりとする自治体間交流の可能性について考える。
4 内 容	・九鬼水軍の歴史 ・鳥羽城跡を活かしたまちづくり ・答志島の文化財を見学
5 支出経費の内訳と金額	366,400 円（貸切バス代 260,370 円、有料道路・駐車料金 14,780 円、乗務員経費 13,750 円、宿泊代 52,800 円、タクシー・乗船代 8,200 円、手配手数料 16,500）
6 参加議員名	梅 原 哲 史、渡 辺 弘 造、高 橋 輝、 柳 原 秀 一、松 本 幸 子、後 藤 光
7 活動成果の概要、所見	別紙報告書の通り
8 成果物資料等	・「九鬼嘉隆によるまちおこしの可能性」 ・「とばっこ探偵団」「とばっこ探偵団ドリル」

○ 令和8年1月27日（火）午後1時30分～4時

- ・ 視察先 三重県鳥羽市
- ・ 調査項目「九鬼水軍の歴史を地域学習や観光資源として
まちづくりに活かすには」
- ・ 場所 鳥羽市役所 鳥羽城趾 鳥羽市歴史文化ガイドセンター
- ・ 講師 鳥羽市教育委員会 豊田祥三氏

【趣旨説明】 戦国時代に織田信長や豊臣秀吉の水軍として鳥羽を中心に活躍した九鬼嘉隆は、1600年の関ヶ原の戦いにおいて親子で東西に分かれて戦い、九鬼嘉隆と家督を相続した息子の守隆の死後に起こった家督争いで、三男の隆季が綾部、五男の久隆は三田へ移りました。

九鬼氏は、綾部のまちの歴史と文化の基盤を築いた重要な存在であり、その足跡を今に伝えることは地域の誇りを共有し、未来につなげることとなります。九鬼氏の新たな魅力発信や発見の契機となるように、昨年10月21日に「九鬼氏ゆかりのまちサミット in 綾部」が開催されました。

そのご縁もあり、九鬼氏発祥の地である鳥羽市を訪問させていただき、九鬼氏を掘り下げて学習してみようと今回視察に至りました。

* 九鬼嘉隆と九鬼氏のお家騒動による転封

九鬼氏のお家騒動については、上記趣旨説明で記述した通りであります。

* 郷土学習を行うに至った経過

今回講師をお世話になった豊田氏が、平成19年に文化財担当で着任された時、当時は中心市街地で、「城跡を活かしたまちづくり事業」が都市計画の部署で行われていた。専門職員がいなかったため、歴史を調べるのもコンサル任せであった。事業実施にあたっては市民を交えたワークショップが開かれていたが、参加者の歴史に対する理解が進んでいなかった。テキストもなかったため、郷土学習本の必要性を感じておられた。

* とばっこ検定について

郷土学習を推進するため、鳥羽市教育ビジョンでは子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育の推進として、市内の子ども達の郷土愛の育成のため、平成29年から「とばっこ検定」を実施する。4年生「ミキモト幸吉と真珠」、5年生「海女」、6年生「鳥羽城と九鬼嘉隆」。

* 九鬼氏の歴史を学習する目的

九鬼氏が鳥羽城を築き、志摩国（鳥羽藩）を始めたことで、現在の鳥羽市・志摩市のルーツがある。しかし、鳥羽城に関して関心はあったが、九鬼氏には関心が向けられなかった。

九鬼氏を学ぶという郷土学習は、「学校・家庭・地域を大切に思う気持ちを支えるものであり、それを通して主体的に研究し、まとめる力・対話を通じて学びを深める力・プレゼンテーションの力を伸ばしながら郷土愛を育む」ことに

つながります。

* 鳥羽城跡の整備について

平成20(2008)年の鳥羽小学校の移転以降、運動場として使用されていた本丸跡の遊具やフェンス等を順次撤去し、海側は来訪者落下防止のためフェンスを設置する。海側の斜面は、近代以降の削平により急傾斜の崖となっていて、崩落・落石が相次いだため、ネット工事を複数年にわたって整備された。

案内看板は順次整備中、登城の階段の整備もされる。

* 観光への取組み

正式な九鬼氏の展示施設はないが、鳥羽1丁目に所在する鳥羽歴史文化ガイドセンターの2階の一部に、九鬼氏を紹介する展示コーナーがある。

一般からの問い合わせはほとんどが鳥羽城か九鬼氏の件であり、市ホームページでは、九鬼氏の概要を紹介するページを作成、ショート動画も作成する。市民向けには広報などでも周知を行う。

○ 座学の後、市役所のすぐ上にある鳥羽城趾を説明を聞きながら探訪する。

○ 令和8年1月28日(水) 9時～12時

・視察先 答志島(鳥羽市)

関ヶ原の戦いで、九鬼嘉隆は西軍、息子の守隆は東軍に分かれて戦います。東軍が勝利したため嘉隆は答志島に逃げ延び、守隆の懇願むなしくその地で自害して亡くなりました。なので、答志島には九鬼嘉隆に関連した文化財が多く見受けられます。

九鬼嘉隆の墓(胴塚)

〃 (首塚)

常安寺の九鬼家の墓所

九鬼の千年杉 等

○ 【所見】

今回鳥羽市を訪問し、九鬼水軍の歴史を学びまた関連する文化財を見学させていただきました。まずもって感じたことは、郷土学習の重要性です。鳥羽市と同じく綾部市も九鬼隆季が治めたまちであったことを、大人も子どもも学び直しそれをまちづくりや観光資源として活かしていけば、まだまだワクワクするまちになるのではないかと思います。

また、この「九鬼氏」という共通の氏族をもつ鳥羽市、三田市、綾部市が連携し、知恵や人材、情報を共有することは持続可能なまちづくりをすすめる上で、極めて意義深いものです。地理的には離れた地方自治体でありながら、歴史的に深い関係性を有していることを改めて確認し、そのつながりを再び結び直し、さらに深めていくことは大変有意義なものになると考えます。

九鬼嘉隆によるまちおこしの可能性

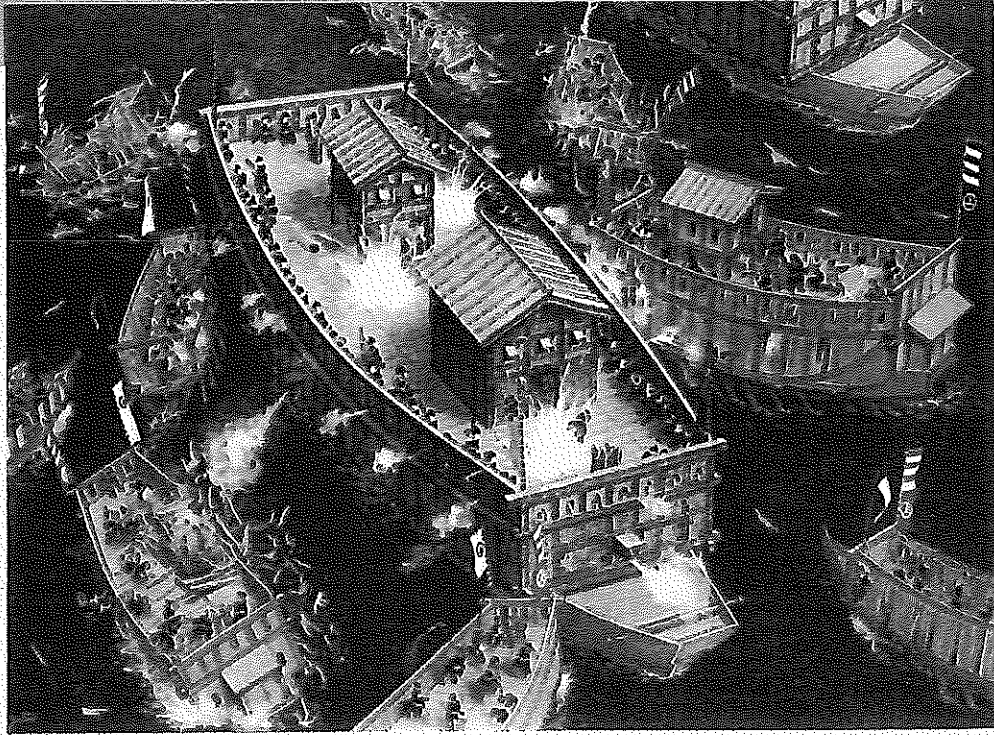
鳥羽市教育委員会
豊田 裕三

九鬼嘉隆(1542年～1600年)



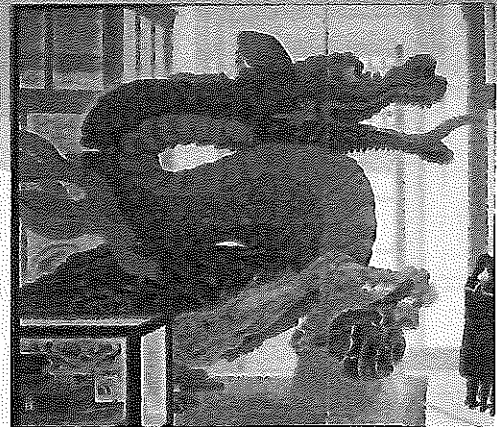
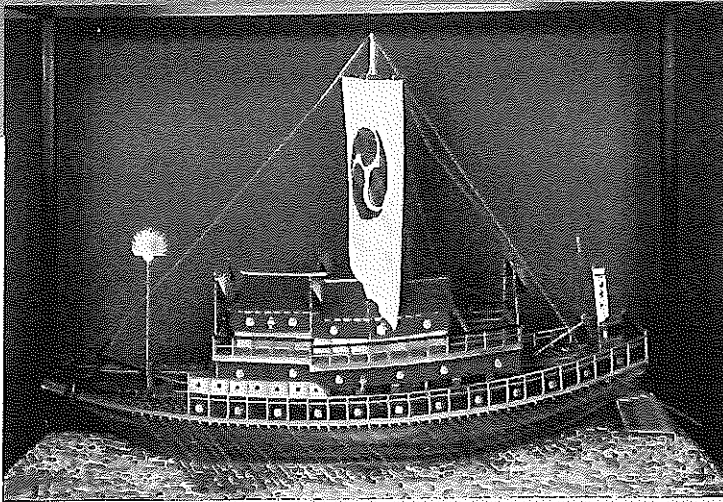
九鬼嘉隆像(常安寺蔵)

毛利水軍を撃破！！



大船6艘と西洋式の大砲で毛利水軍を破った。(村上海賊ミュージアム提供)

朝鮮への出兵と日本丸

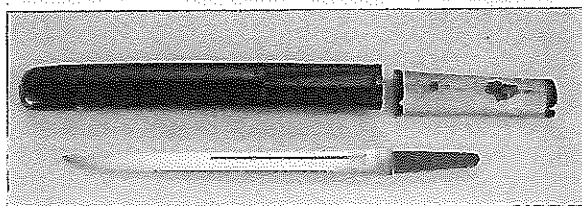
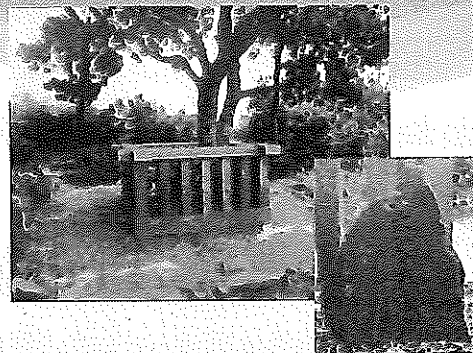


- * 全長約33m、幅約12mの巨大な安宅船を建造。
- * 文禄の役では、豊臣水軍の大將として参戦。
- * 脇坂安治や加藤嘉明らと連携がとれず苦戦。
- * 慶長2年に嘉隆は息子守隆に家督を譲り隠居

親子に分かれて戦う九鬼氏...

関ヶ原の戦いの際、嘉隆は西軍、息子の守隆は東軍に

- * 船津で親子で戦う
- * 息子の守隆は父親の命を助けて欲しいと家康に懇願し、認められる。
- * しかし、嘉隆はその助命の許しを知ることなく、答志島で自害して亡くなる。
- * 助命を知らせる使者と嘉隆の首をもった使者が明星で出くわした。



首塚 伝九鬼嘉隆の短刀(常安寺蔵)

何がすごいのか

戦国武將で最も人気の高い三英傑と絡んでいる。

- * 信長の命令で鉄で装甲した船を建造し、戦いで勝利！→最も有名なエピソード
- * 豊臣秀吉の配下になり、水軍の将として活躍
- * 秀吉「海のことには九鬼と相談せよ」
- * 秀吉の朝鮮出兵用の軍船は九鬼が設計した。
- * 秀吉から全幅の信頼。

日本丸という軍船を建造
水軍の将にふさわしい海に囲まれた鳥羽城を築城

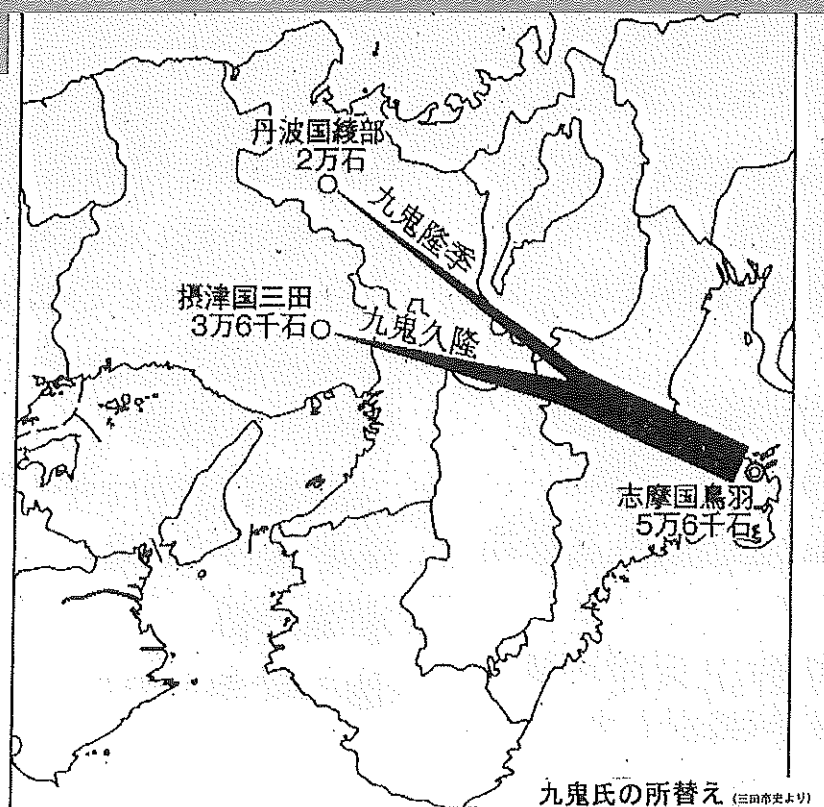
- * 関ヶ原の戦いの際には、親子に分かれて戦う。
- * 嘉隆が助命されたことを知らずに自害
- * →非常にドラマチックな人生を送っている。
- * 水軍の将
→他の武將との差別化

なぜ、知名度がなかったのか

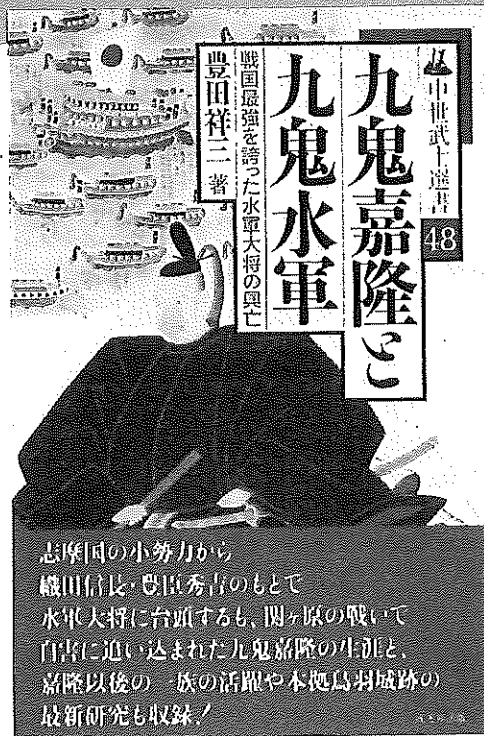
- * 江戸時代にお家騒動によって鳥羽から三田・綾部に家臣団共々移動になったため、鳥羽に史料が少ない。
- * 史料が少ないため、学術的に研究する人が少なかった。
- * それゆえに、ゆかりの地でもPRしてこなかった。
- * 九鬼氏を知るための書籍が小説しかなかった。

→

九鬼氏は鳥羽から三田と綾部に転封



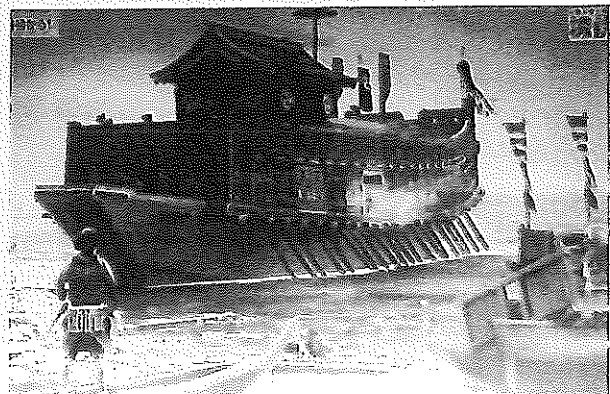
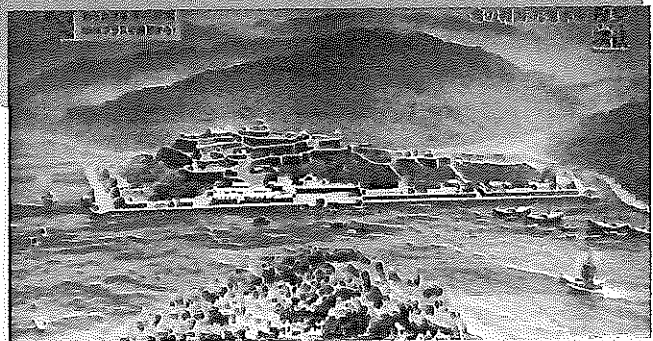
初めての一般書の刊行！



令和5年8月に戎光祥出版より中世武士選書48『九鬼嘉隆と九鬼水軍』が刊行されました！

＊ 九鬼氏に関する初めての一般書籍。九鬼氏を知るための基本文献！

NHK『歴史探偵』「海の戦国 九鬼水軍」



漫画も刊行されました！



ポプラ社より今年5月に刊
行されました！

* 人気のない、魅力のない
人物だったら取り上げられ
ない。

観光協会制作の鳥羽AR 鳥羽城天守

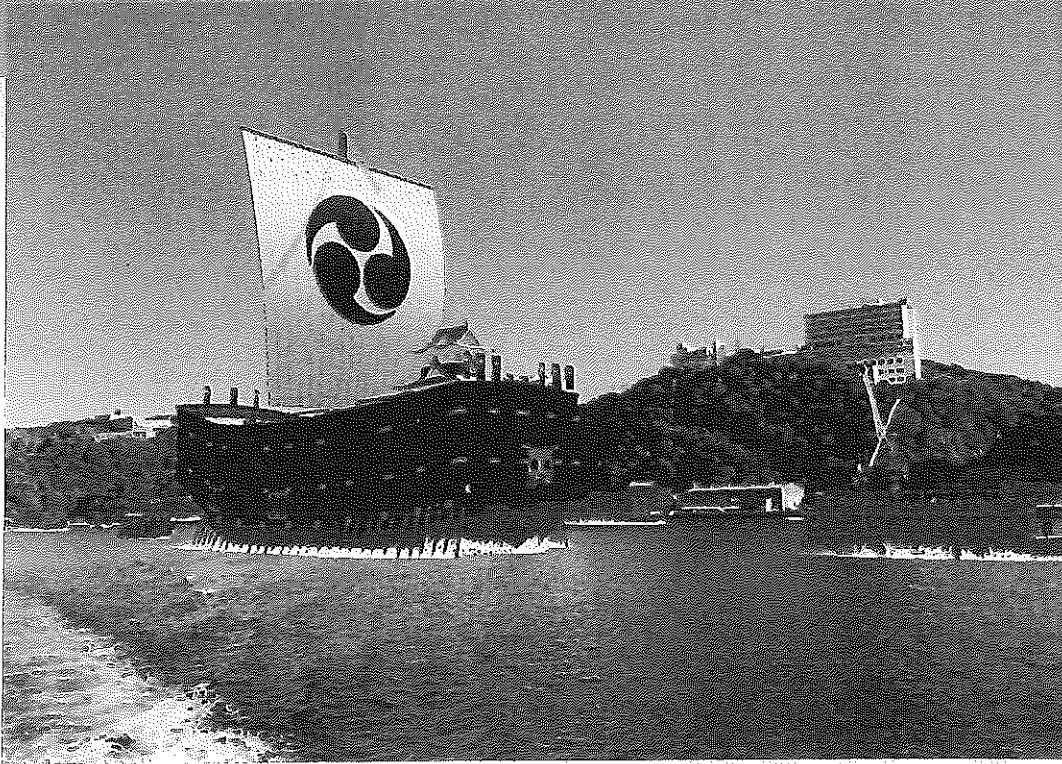


三浦正幸氏監修

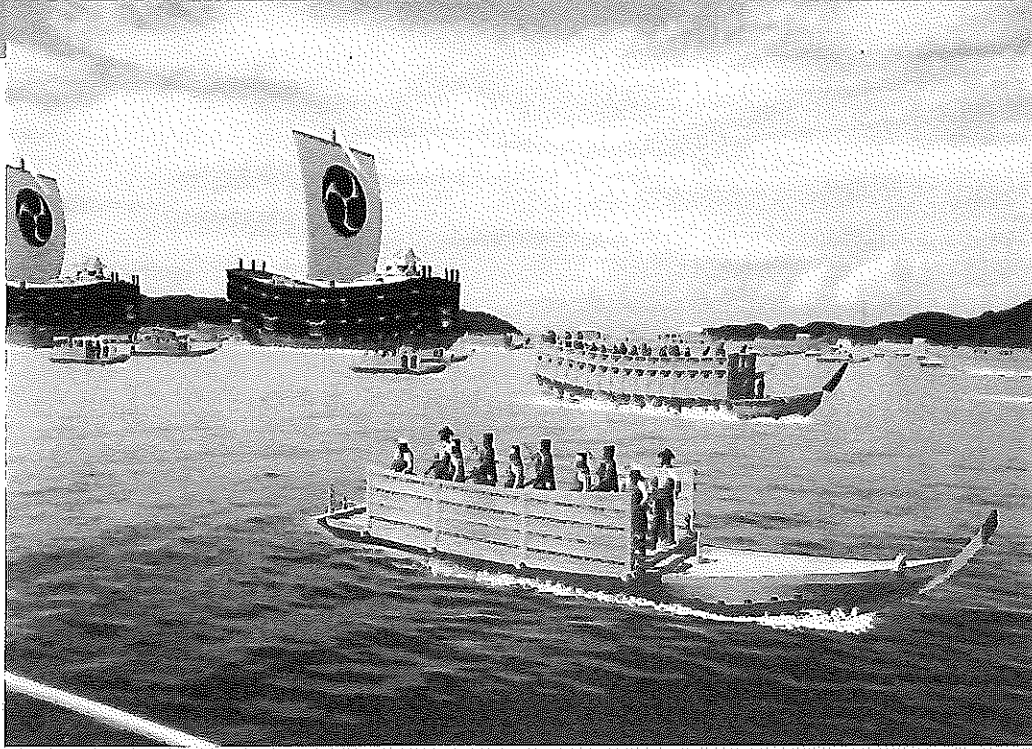
本丸御殿のAR



鳥羽ARで、九鬼水軍の船団を体験



船団の中にいるような感覚が味わえます。



御朱印も大好評発売中！！

鳥羽城跡登城記念 御城印

七曜家紋ver.
300円 (税込)



左三つ巴家紋ver.
300円 (税込)

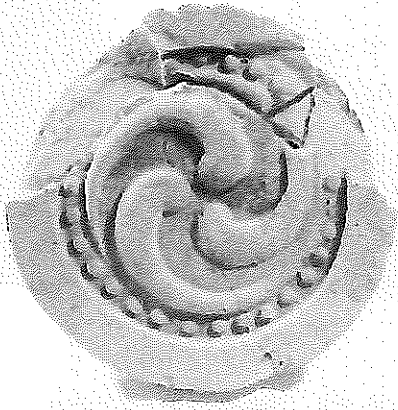


左三つ巴家紋 七曜家紋ver.
500円 (税込)

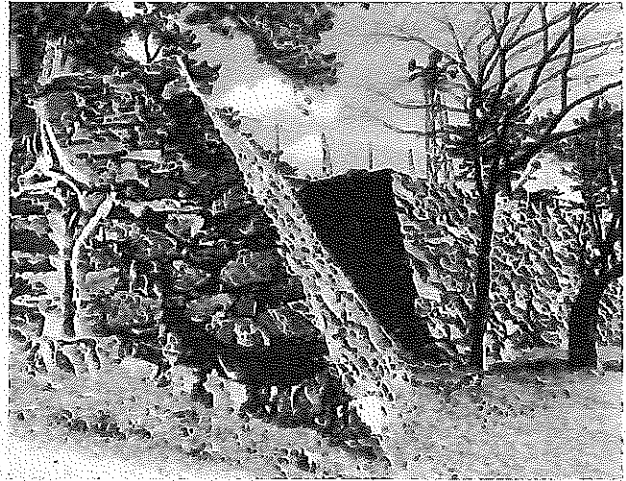


嘉隆が築城した鳥羽城跡

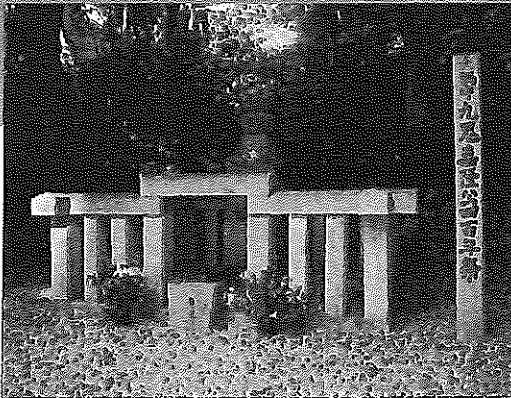
九鬼氏の時代の瓦



城に残る石垣



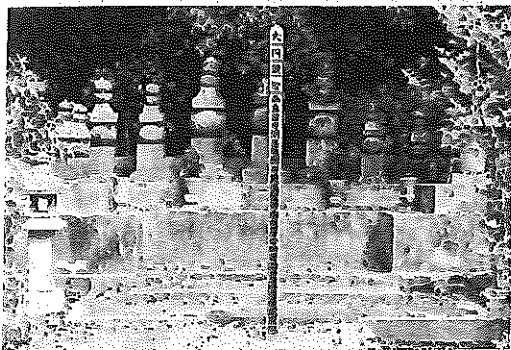
関連する文化財



答志島の九鬼嘉隆墓(胴塚)



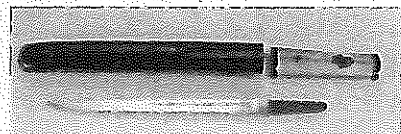
首塚



常安寺の九鬼家の墓所

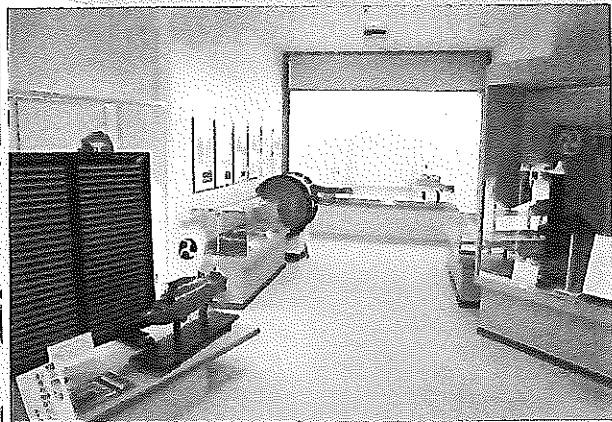


九鬼の千本杉



嘉隆の切腹に使用した短刀

鳥羽歴史文化ガイドセンター



現在は、ここの2階の1室で展示を行っているが、資料に乏しい。

綾部の九鬼氏資料

- * 綾部九鬼氏の末裔は熊野本宮宮司の九鬼家隆氏
- * 綾部九鬼家に伝わる資料は大阪城天守閣の博物館に寄託されている。
- * 近年、三田九鬼家の資料も明らかになってきている。



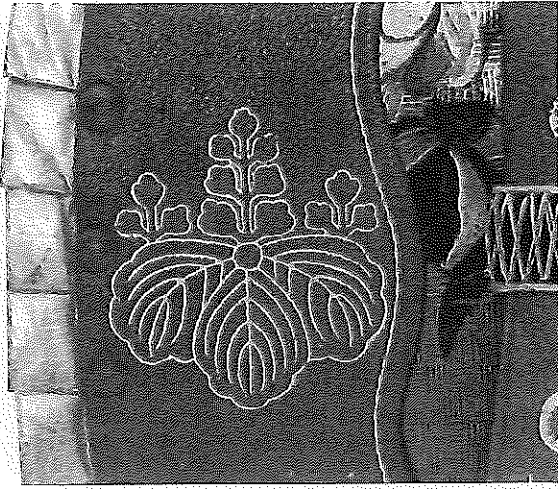
嘉隆・守隆所用の甲冑



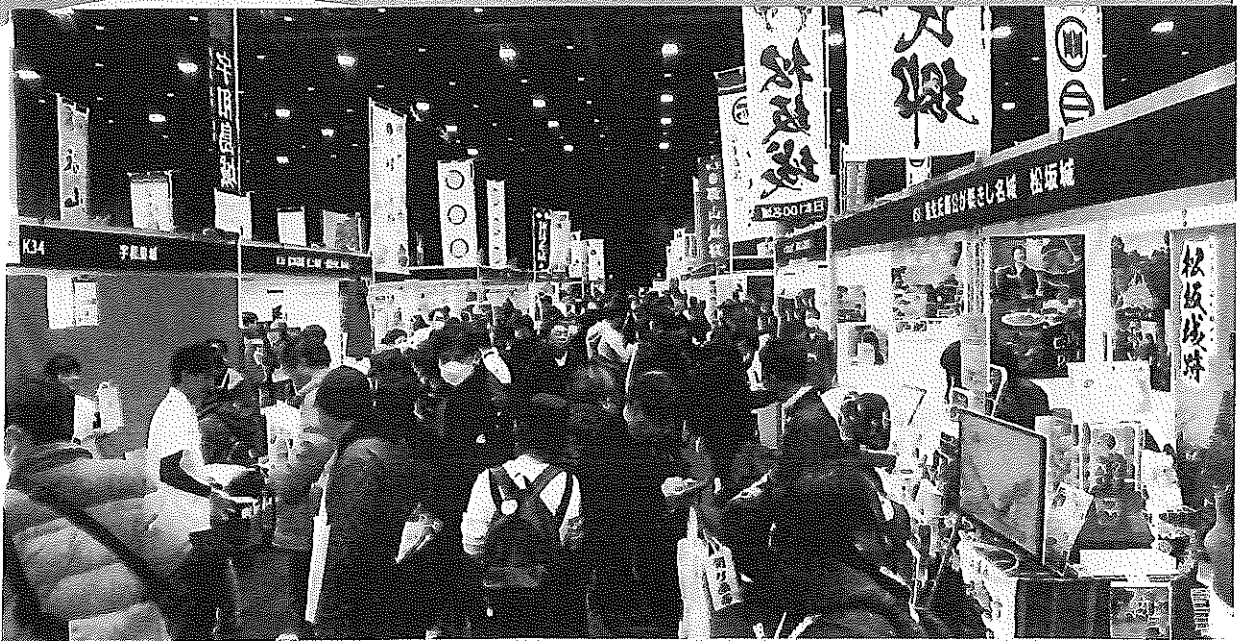
唐津にも三田九鬼氏の資料が...



豊臣家から拝領の鞍



高まるお城人気と戦国人気



毎年12月に横浜で行われるお城EXPOには2日で2万人(有料)が来場！

九鬼嘉隆と九鬼水軍の可能性

今の鳥羽市・志摩市があるルーツは九鬼嘉隆の志摩支配

- * 九鬼氏はPRするに値する武将である！
- * 信長・秀吉・家康と関係している武将であり、波乱にみちたドラマチックな生涯を送っている。
- * そもそも、人気がないのであれば、書籍にも漫画にもならない！
- * 地元が評価しなくては、対外的にPRできない。
- * 鳥羽以外に九鬼氏ゆかりの品が新たに確認されてきている。
- * これから驚くような発見があるかもしれません。
- * **結論** 九鬼氏をもっと活かすためにもっと知って欲しいし、PRしていく必要があります！

令和7年10月21日

綾部市議会議長 様

会派名 創政会
代表者氏名 幹事長 梅 原 哲 史

研究研修・調査計画書

下記のとおり計画しましたので届け出ます。

記

1 日 程	令和7年10月29日（水）
2 行 先	京丹後市 京都府丹後文化会館
3 目 的	・第17回全国水源の里シンポジウム in 京丹後市に参加
4 内 容	・基調講演、パネルディスカッションを拝聴する
5 概 算 経 費	なし
6 参加議員名	梅 原 哲 史・高 橋 輝 柳 原 秀 一・後 藤 光
7 参考資料等	資料など

令和7年11月11日

綾部市議会議長様

会派名 創政会

代表者氏名 幹事長 梅原哲史

研究研修・調査報告書

研究研修・調査をしました結果を下記のとおり報告します。

記

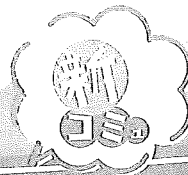
1 日程	令和7年10月29日(水)
2 行先	京丹後市 京都府丹後文化会館
3 目的	・第17回全国水源の里シンポジウム in 京丹後市に参加する
4 内容	・基調講演、パネルディスカッションを拝聴する
5 支出経費の内訳と金額	なし
6 参加議員名	梅原哲史・高橋輝 柳原秀一・後藤光
7 活動成果の概要、所見	研究研修・調査報告書 全国142か所連携され、集落再生に向け活動されている水源の里。今回京都府丹後文化会館でシンポジウム6名参加 講師の株式会社雨風太陽 代表取締役社長 高橋博之氏から、「集落を超えた広域的な地域コミュニティづくりと人口減少社会における活力の創造」と題した基調講演を拝聴した。

上流は下流を思い、
下流は上流に感謝する

第17回

全国水源の里 シンポジウム

in 京都府京丹後市



集落を超えた広域的な地域コミュニティから始まる
人口減少社会における活力の創造
～多様な人材と資金の循環による地域コミュニティの自立を目指して～

日程

令和7年10月29日(水)・30日(木)

会場

京都府丹後文化会館 ほか



上流 京丹後市弥栄町
野間川



下流 京丹後市網野町
八丁浜

10/29(水)

シンポジウム

会場 京都府丹後文化会館

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|------------------|
| 12:00 | 開場/受付開始 | 14:30 | 基調講演 |
| 13:00 | オープニング「長寿よさこい“京丹後”」 | 15:55 | パネルディスカッション |
| 13:20 | 開会式、主催者あいさつ、来賓祝辞・紹介 | 16:55 | 大会アピール、次回開催地あいさつ |
| 13:55 | フォトコンテスト表彰式 | 17:00 | 閉会 |

出演者プロフィール

基調講演

講師

株式会社雨風太陽
代表取締役社長
高橋 博之氏

1974年、岩手県花巻市生まれ。青山学院大卒。代議士秘書を経て、2006年岩手県議会議員に初当選。翌年の選挙では2期連続のトップ当選。震災後、復興の最前線に立つため岩手県知事選に出馬するも次点で落選、政界引退。2013年NPO法人東北開港を立ち上げ、地方の生産者と都市の消費者をつなぐ、世界初の食べもの付き情報誌「東北食べる通信」を創刊し、編集長に就任。2015年当社設立、代表取締役に就任。2023年12月、日本で初めてNPOとして創業した企業が上場を実現するインパクトIPOとして、東京証券取引所グロース市場へ株式を上場。2024年11月には、内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部が開催する「新しい地方経済・生活環境創生会議」の有識者構成員に、2025年6月には一般社団法人日本ファームステイ協会理事に就任。

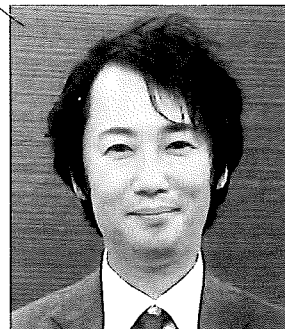


パネルディスカッション

コーディネーター

福知山公立大学
地域経営学部 准教授
杉岡 秀紀氏

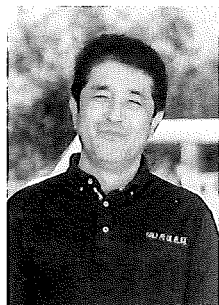
奈良県出身。同志社大学経済学部卒業、同大学院総合政策科学研究科修了。内閣官房行政改革推進本部事務局参事官付、同志社大学政策学部嘱託講師、京都府立大学公共政策学部講師を経て、現職。その他、総務省主催者教育アドバイザー、厚生労働省地域雇用活性化推進事業地域支援アドバイザー、大阪公立大学都市経営研究科非常勤講師、島根県立大学地域政策学部非常勤講師、自治体学会評議員・理事・企画部会長、日本協働政策学会理事、産学連携学会理事を務める。専門は公共政策、地方自治。主な著書に『地域力再生とプロボノ』（公人の友社、2015年、編著）、『地域創生の最前線』（公人の友社、2016年、編著）、『自治・分権と地域行政』（芦書房、2021、分担執筆）ほか。京丹後市では、まちづくり委員会委員長、総合計画審議会副会長、大阪・関西博推進協議会会長、網野庁舎跡地活用構想検討会議委員長、公営プールのあり方検討会議委員長を務める。



パネリスト

株式会社丹後乳販 代表取締役
井上 泰典氏

京都府京丹後市出身。地域に根ざした企業経営を続ける株式会社丹後乳販の代表取締役として、乳製品宅配事業を通じて高齢化地域の暮らしと健康を支えてきた。創業86年を迎える老舗企業の経営を継承しながら、「地域を支える企業であり続ける」ことを使命に、持続可能な成長と社会的役割の両立を追求。近年は、住民が気軽に集い、学び、つながる拠点として「WAKUWA健康しあわせステーション」を立ち上げ、健康講座やイベントを通じて地域の活力創出に取り組んでいる。長年培ったネットワークを活かし、企業・行政・地域が共に支え合う新たな地域モデルづくりに挑戦している。



株式会社リバイタライズジャパン 代表取締役
三本 大介氏

大学卒業後、大手医療経営コンサルティングファームに入社。医療経営コンサルタントとして、全国の医療機関、介護施設の経営改善支援を担当。2020年4月に株式会社リバイタライズジャパン創業及び現職。
①地域社会が持つコンテンツを再発見と再構築
②地域の魅力への体感・体験をプロデュース
③持続可能な地域社会を創造
の3つを会社のミッションとして掲げ、事業を展開している。現在は、丹後地域の活性化支援、農作物のリブランディングを展開している。



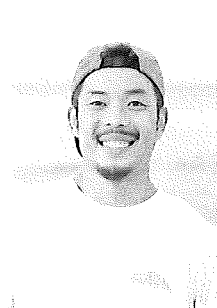
いやさか吉野地域づくり協議会 地域マネージャー
江草 智子氏

京都府京丹後市（旧丹後町）出身。地元の高校を卒業後、進学・就職のため都会で生活し、結婚後に京丹後市にUターン。弥栄町で夫と猫と共に暮らしている。Uターンをきっかけに弥栄町吉澤区の事務員となり、9年目。2019年度に吉澤区、芋野区、堤区の広域で「いやさか吉野地域づくり準備会」を立ち上げ、協議会設立に向けて取り組みを開始。2021年度から京丹後市の新たな地域コミュニティ推進事業で「いやさか吉野地域づくり協議会」を立ち上げ、地域マネージャーに就任。「みんなでつくる おもしろい吉野」を合言葉に、地区の人たちが楽しめることを中心に考え活動している。



株式会社あしあと 代表取締役
八隅 孝治氏（元地域おこし協力隊）

株式会社あしあと代表。元京丹後市地域おこし協力隊。世界的な環境課題である海ゴミ問題に対し、「はだして遊べる海を未来へつなぐ」を使命に、ビーチクリーン活動や企業研修、学校での出前授業・講演、プラスチックのアップサイクル事業などを展開。海ゴミ問題の未来を変えるアクションとして、ビーチクリーンの職業化や海ゴミの資源化、ライフセービングの普及を通じて、海を守り、楽しみ、未来へつなぐ新しい仕事「BEACH WORKER（ビーチワーカー）」の創出を目指す。



交流会

会場 KISSUIEN Stay & Food

- | | |
|-------|-----------------|
| 18:00 | 開会 |
| 18:45 | アトラクション |
| | ①周知雅楽保存会 |
| | ②ミュージックアンサンブル花音 |
| 20:00 | 閉会 |

A 丹後町コース



宇川のまちなみ

ユネスコ世界ジオパークの美しい海岸線と
レトロな漁村のまちで
百寿健康ウォーキングを楽しむ

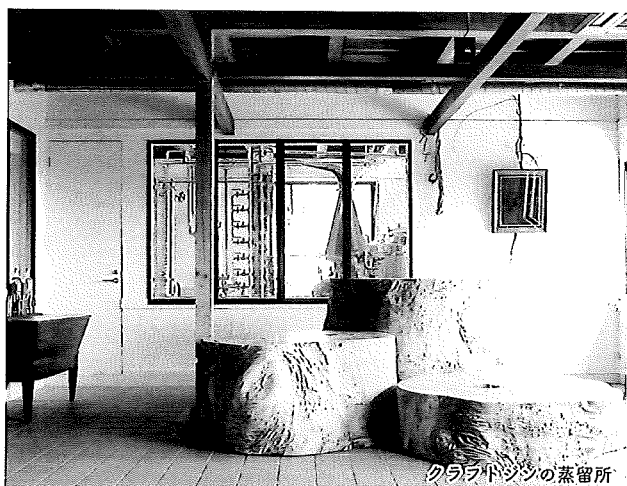
京丹後市最北端の地域「宇川」。山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの美しい海岸線、レトロな漁村のまちなみを歩き、運動・栄養・休養のプログラムを通じて、百寿者の多い京丹後市の長寿の秘訣を体感。

その後、「ふるさとづくり大賞(総務大臣表彰)」を受賞した地域団体「宇川加工所」の活動拠点である「宇川アクティブライフハウス」を見学しながら、買い物支援やささえ合い交通など、「無いなら自分たちでやろう!」と地域に無いものを創り出し、大学連携の取り組みで地域の活性化を図る、地域コミュニティのみなさまにお話をいただきます。

行程

京都府丹後文化会館 ⇒ 丹後町:宇川地区「百寿健康ウォーキング」
⇒ 宇川アクティブライフハウス(うかわコミュニティの活動拠点の視察・昼食)
⇒ 道の駅てんぎ丹後 ⇒ 峰山駅 ⇒ 京都府丹後文化会館

B 弥栄町コース



クラフトジンの蒸留所

日本の原風景が息づく山あいの集落の
先進的な地域づくりと、
若者たちが挑むクラフトジンをめぐる

弥栄町にある野間地区は、住民が約150人。清流が穏やかに広がる山あいの小さな集落では、先進的な取り組みが数多くなされています。例えば、地元出身の起業家による最新医療機器を使ったコミュニティサロンや、地域版ふるさと納税の取り組みで購入したコミュニティバスによる移動支援。そんな取り組みについてお話を伺います。

その後は、300種類以上薬草薬樹が自生する森のなかで採取した植物をフレッシュなままに蒸留したクラフトジン(SFWS2025最高金賞受賞)を製造する蒸留所へ。原料はすべて京丹後産の自分たちが採取したものに限定しているこだわりを見学します。

行程

京都府丹後文化会館 ⇒ 弥栄町:野間基幹集落センター(野間連合区による地域活動を視察)
⇒ 京丹後森林公園スイス村・京丹後舞輪源蒸留所
⇒ 道の駅丹後王国「食のみやこ」(昼食) ⇒ 峰山駅 ⇒ 京都府丹後文化会館

C 峰山町・久美浜町コース



豪商稲葉本家

日本の稲作発祥神話と羽衣伝説の地で、
伝統が息づくまちなみと、新たな暮らし方・
働き方をデザインする人々に出会う

稲作発祥の神話がある「月の輪田」と日本最古の羽衣伝説の地。「月の輪田」を巡り、その後、天女が舞い降り、酒造りと機織りを伝えたこの地で、穀物の豊穡や食物の神として信仰される豊受大神を祀っている比沼麻奈為神社を参詣したあと、天保13年より続く「玉川」の蔵元である木下酒造を見学し丹後の豊かな食文化について歴史と文化を学びます。お昼には、豪商稲葉本家で趣を感じながら地元食材を使ったお食事を召し上がりつつ、京丹後市地域づくり協同組合「ほむたん」の視察・交流を行います。

※「ほむたん」は総務省の制度である「特定地域づくり事業協同組合制度」を活用した協同組合で、事業者の繁忙期に職員を派遣する派遣事業を行っている。

行程

京都府丹後文化会館 ⇒ 月の輪田 ⇒ 比沼麻奈為神社 ⇒ 木下酒造
⇒ 道の駅くみはまSANKAIKAN ⇒ 豪商 稲葉本家(ほむたんの講話・昼食)
⇒ 峰山駅 ⇒ 京都府丹後文化会館

開催趣旨

私たちが暮らす水源の里は、豊かな水と緑と自然に恵まれ、水源の涵養、国土の維持・保全、良好な環境の形成に欠くことのできないものです。さらに、伝統文化の継承や、都市に暮らす人々への食料・エネルギーの供給など、日本の暮らしを支える大切な役割を果たしている地域です。こうした地域を支えてきたのは、集落ごとの「コミュニティ（つながり）」です。京丹後市では昔から、隣近所で助け、支え合い、人と人とのつながりを育んできたことが、「長寿のまち」や「人の温もりを感じるまち」といった、まちの大きな魅力につながっています。

しかし今、「地方」では、都市部への人口流出、高齢化・過疎化の進行が止まらず、これまで当たり前だった支え合いの仕組みが維持できなくなるなど、地域活力の低下や山林の荒廃を招いています。

こうした状況を打開し自らの手で地域の暮らしを守ろうと、全国各地で小学校区単位など、集落という単位を超えた広域の地域コミュニティ（地域運営組織）の形成が進んでおり、その数は令和6年9月1日現在で8,193組織と年々増加しています。

京丹後市においても、「新たな地域コミュニティ＝新コミュ」と銘打って、若者や女性など多様な主体が参画し、地域ごとの特性や強みを活かしながら、集落を超えた広域的な地域コミュニティの形成や運営に取り組んでおり、地域おこし協力隊やふるさと納税など多様な制度を活用しながら、人材や資金を呼び込むことによって、地域課題の解決や持続可能な地域づくりに向けた取組みを展開しています。

そこで、こうした取組を実践している住民、自治体、有識者が一堂に会し、人口減少社会において集落を超えた広域的な地域コミュニティによる活力の創造と自立、多様な人材・資金の循環をテーマに議論を深めるとともに、「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念に基づく、流域連携の必要性を全国に広く発信することを目的に、シンポジウムを開催します。

主 催

第17回全国水源の里シンポジウム実行委員会 一般財団法人自治総合センター

協 賛

全国水源の里連絡協議会

後 援

内閣府、総務省、農林水産省、国土交通省、京都府、全国市長会、全国町村会、一般社団法人全国過疎地域連盟、全国山村振興連盟、全国森林組合連合会、全国漁業協同組合連合会、全国内水面漁業協同組合連合会、独立行政法人水資源機構、一般社団法人全国浄化槽団体連合会、特定非営利活動法人中山間地域フォーラム、特定非営利活動法人地球緑化センター、全国水源林造林協議会連合会、水資源保全協議会、日本青年団協議会、公益社団法人大分県薬剤師会、毎日新聞京都支局、朝日新聞京都総局、北近畿経済新聞社、産経新聞社京都総局、京都新聞、(株)時事通信社京都総局、NHK京都放送局、KBS京都、特定非営利活動法人京丹後コミュニティ放送、朝日放送グループホールディングス株式会社、読売テレビ放送株式会社、京丹後市区長連絡協議会、京丹後市商工会、丹後地区森林組合、社会福祉法人京丹後市社会福祉協議会、京丹後市観光公社、近畿地方環境事務所

(順不同)

お問い合わせ

第17回 全国水源の里シンポジウム実行委員会 事務局

京丹後市 市長公室 地域コミュニティ推進課

TEL:0772-69-1050 FAX:0772-69-0901 E-mail:chiikicom@city.kyotango.lg.jp